

事業名	庁舎管理事業	総事業費	22,476 千円
-----	--------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	財産の有効活用
	基本事業名	公共施設等総合管理計画の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		庁舎機能を良好な状態に保ち、快適に安心して利用できる環境を保持する。
事業の実績 と成果	取組内容	庁舎建設後20年近くが経過し、設備類の運転状況や耐用年数から本格的な設備更新時期を迎えており、係で作成した修繕計画に基づき設備類の修繕を実施した。受変電設備・個別空調機・外壁塗装・屋上防水の状態が良好なことから修繕を先送りにし、定期検査で長年、既存不適格の判定が下りていたエレベータ1号機の改修を行った。照明設備のLED化に関しても非常電源接続照明を除いたLED化を行った。部分的な漏水も発生していたため、漏水箇所の点検をし修繕を行った。
	成 果	修繕計画に基づき吸収冷温水機修繕の予防的修繕を行うとともに、給排水・空調設備・建具・防水等が老朽化に伴った修繕が発生し早急な対応を行った。。エレベータ1号機が現行法（戸開走行保護装置、耐震対策）に適合させるよう改修を行い、安全・安心な利用ができるように図った。照明設備のLED化（非常電源除く）に関しては、更新費用を抑える工法で実施し、更新率としては前年度末の71%から74%となった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	施設の予防保全・長寿命化の観点からは中規模修繕（機能回復）の時期を迎えており、躯体の劣化状況調査を行った上で、改修する部位の特定を明確にし、長期修繕計画に反映させる必要がある。庁舎の電気計装設備については、庁舎建設以来点検業務を行っていない状況である。経年劣化に伴う設備不具合箇所が多発していることから、庁舎全体の電気設備の点検を行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	庁舎建設後20年以上経過しており、今後も修繕に掛かる費用は増加が見込まれる。 財政的に厳しい状況にありながらも、維持経費の節減が見込まれる機種の選定や工法の工夫などを行いながら、安全に最大限配慮して対応を行っている。 今後も計画的な修繕を行うとともに、急な故障などによる改修計画の変更がされていることを踏まえ、点検して計画の見直しも行う必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	庁舎建設後26年経過していることから、修繕対応箇所が増大している。優先順位をつけた予防保全的修繕に取り組む。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	公有財産管理事業（公共施設等総合管理計画強化事業）
-----	---------------------------

総事業費	4,809 千円
------	----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	財産の有効活用
	基本事業名	公共施設等総合管理計画の推進

② 実施（Do）

事業の意図		個別施設計画を主要施設全体に拡げ、インフラ系長寿命化計画、公営企業の経営戦略も加え、公共施設等総合管理計画を実行性の高い計画へバージョンアップを図る。併せて、固定資産台帳との連携を図り、財務分析の高度化を目指すことによる、資産管理の高度化・財政規模の適正化を図る。
事業の実績 と成果	取組内容	公共FM（ファシリティマネジメント）を本格導入するため、既存の固定資産台帳や個別施設計画等と連動する公共FMデータを構築し、公共施設群の見える化を図り、公共FM戦略等を通じた、経営資源の最適化を図ることを主な目的として取り組みを進めている。
	成 果	令和3年度決算における貸借対照表の附属明細書（有形・無形固定資産の明細）の作成、固定資産台帳整備、個別施設計画・公共施設等総合管理計画の更新、公表法固定資産台帳の作成、脱炭素化推進に向けた公有林の利活用可能性報告書作成、道路用地一筆データの地図機能との連携作業等が成果として挙げられる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	委託業務の完成が年度末となったことにより、データの分析や公表に向けた取組が令和5年度に行うこととなる。また、公共FMの仕組みを早期に構築し、それに合わせた財産管理規則を構築しないと、行政事務として機能しないことから、令和5年度における取組が重要となってくると思われる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	公共施設等総合管理計画の実質的な運用において、固定資産台帳の精度が阻害要因となっている。 これまでの取組でかなり精度は向上してきており、実用化の段階であったが、係全体の業務量の増により、進捗管理が十分に行えなかった。 次年度に向けて、整理を行い、公共施設等総合管理計画の見直しにつなげていきたい。

④ 改善（Action）

2023年度方向性	公共施設マネジメントの仕組みづくりと公共施設等総合管理計画の見直しを同時に進め、計画の実行性を高める取組を行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明